

各 位



2026 年 10 月 30 日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 北村 健一

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：執行役員 CFO 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

福岡証券取引所への重複上場申請に関する取締役会決議のお知らせ

当社は、2026年10月30日開催の取締役会において、福岡証券取引所（以下、「福証」といいます。）本則市場への重複上場申請することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 福岡証券取引所上場（重複上場）の背景および目的

当社グループは、日本国内の中堅・中小企業を主な顧客層として、複合機やネットワーク環境等の「ITインフラ関連事業」、およびWebマーケティング支援やSaaS型クラウドツール等の「DXソリューション関連事業」を展開しております。

日本の企業数の約99.7%を占める中小企業の多くは、社内に専任のIT担当者（情報システム部門等）を置くことが難しく、セキュリティ対策や各種クラウド・Web施策の導入において個別の契約や運用に課題を抱えています。当社グループは、これら中小企業の「コスト削減」「業務効率化」「集客・売上向上」をワンストップで支援し、情報システム部門や営業・マーケティング部門の補完的役割を果たすことで、顧客企業の成長に貢献してまいりました。

こうした中、当社グループは九州エリアにおいて、福岡県をはじめ、熊本県および鹿児島県にも拠点を展開し、地域の中小企業に対する支援体制を構築してまいりました。近年の産業集積や経済活動の活発化に伴い、九州全域において中小企業のDX需要が急速に高まっております。当社グループが福証へ重複上場を果たす目的は以下のとおりです。

① 九州全域における事業基盤の強化および地域経済の活性化への寄与

福証への上場を通じて九州エリアにおける認知度や社会的信用力をより一層高め、福岡・熊本・鹿児島をはじめとする既存拠点を軸とした営業・サポート体制の拡充および優秀な人材の獲得を推進してまいります。これにより、九州全域の中堅・中小企業に対するITインフラ構築およびDX推進の支援を強力に展開し、地域企業の持続的成

長を支えることで、九州経済全体の活性化に寄与してまいります。

② ステークホルダーへの還元と中長期的な企業価値向上

地域社会および地場企業との結びつきを深化させ、中期経営計画の達成に向けた事業拡大を図ることで、株主・投資家の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーに対する中長期的な企業価値向上を実現してまいります。

なお、当社は現在、東京証券取引所プライム市場に上場しており、同市場における上場維持基準を十分に充たしております。今回の福証への重複上場は、上場維持基準に関する懸念に対応するものではなく、上述のとおり九州エリアにおける事業基盤のさらなる拡大および地域経済への貢献を通じた純粋な「成長戦略の一環」として実施するものであります。

2. 今後の見通し

福証への上場申請につきましては、今後、福岡証券取引所による上場承認審査を経て、承認をいただくことを前提としております。今後の具体的スケジュール（上場承認、上場予定日等）につきましては、公表すべき事項が決定次第、速やかにお知らせします。

以上